

知っていますか・・・「小1プロブレム」

「小1プロブレム」とは、小学校入学後、学級内が落ち着かない状態が数ヶ月にわたり継続する状態のこと。教師の話聞かない、指示どおりに行動しない、勝手に授業中に動き回ったり教室から出て行ったりする児童が散見できるなど、授業規律が成立しない状況をいう。

「小1プロブレム」の要因は、家庭のしつけや学校の指導力不足だけにあるわけではありません。まず、少子化や核家族化、地域社会の崩壊によって、子どもたちに人との関わりが不足している点が挙げられます。人とかかわる力や基本的な生活習慣が身に付いていないのです。次に、保育園・幼稚園と小学校で、お互いの教育内容が十分に共有されていない点も原因でしょう。たとえば、保育園・幼稚園ではチャイムはありませんが、小学校では時間割によって児童が動きます。また、イスに座っている時間も異なります。そうした違いに戸惑い、適応できていない子どもも多いのです。

家庭でできる「小1プロブレム」対策3つ

1 “時間割”を作り、学校に近い生活習慣を身に付ける

小学校では、“時間割”通りに授業が行われるので、決められた時間に食事をしたり、テレビを見たり・・・といったメリハリのある生活を、意識して送ることができるように努めることが重要です。

確かに、幼稚園や保育園では、その子の興味や好奇心に応じて、基本的には「自由に遊ぶこと」が中心だったわけですから、学校に入ってから、すぐに決まった時間に座り、先生の話聞くという姿勢を強いられることは難しい話です。そこで、まずは、ご家庭で“時間割”を作ってみて、規則正しい生活習慣を身に付けさせることから始めてみてはいかがでしょうか。

2 そろばん教室など、座学の習い事を始める

座学とはいっても、いきなり、「そこに座って本を読みなさい」と親が指示をしたからといって、ほとんどのお子さんは拒否反応を示すと思われます。座学も習慣化することで、自然と身に付けることができるといいます。たとえば、そろばん教室や習字といった「座学の習い事」がおすすめです。このほか、幼児教室も良いかもしれません。あるアニメキャラクターの幼児教室では、幼稚園の年少クラスで、机に座らせながら文字や数字に触れさせる授業があるそうです。お金がかかることですので、親が先生になって何かを教えるという工夫もためてみてはいかがでしょうか。

3 文字数の多い絵本の読み聞かせを増やす

絵本の読み聞かせは、未就学児にとって言葉を覚えたり、想像力を高めたりと、大事な経験だといいます。読み聞かせをする絵本の文字数を増やしていくことで、自然と目に触れる、耳に入る文字の情報量が多くなってきます。当然、小学校では、教科書での授業がほとんどですから、今から書けなくても文字に触れる機会を少しでも増やし、就学前に文章に親しめるようになるとういようです。

しまつま きつずなび



保護者の皆様へ

下妻市では、お子さんが安心して小学校へ入学し、学校生活を充実したものにできるよう、ご家庭で取り組んでいただきたい内容をリーフレットにまとめました。

家庭での我が子とのかかわりは、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大変重要なものです。ご家庭において、幼児期と小学校の生活をつなぐ三つの力をバランスよく育てることが大切です。

三つの力



三つの力に分けて取り組んでいただきたいことを具体的にまとめましたので、ご活用いただきながら入学までの準備を進めてみてください。

生活する力

健康な身体づくりと自分のことが自分でできることは、新しい環境に適応して生活する力となります。

発見・考え・表現する力

学習の基礎となる興味・関心や意欲・態度につながります。

かかわる力

生涯にわたって心の基盤となる、愛情と安心・信頼感を育み、自分の周りの人とかかわりながら思いを伝え合い、豊かな人間関係をつくっていく力となります。

下妻市教育委員会

小学校生活に向けて、お子さんとご家庭で大切にしていきたいこと、取り組んでいきたいこと！

生活する力

自分のことは自分です

健康で安全な生活をする

体を十分に動かし、進んで運動しようとする

規則正しい生活リズムを習慣付けましょう

「早寝、早起き、朝ごはん」は健康な心身をつくる基礎となります。
 (例・9時に寝て7時には起きて朝食をとる)
 毎日同じリズムを繰り返していますか。
 和式トイレの経験をさせましょう。
 (小学校には和式トイレがあります)



戸外で遊びましょう

元気に戸外に出て友達と遊ぶことは、健康な身体をつくるとともに、安全な生活の知識も身に付けます。
 交通ルールや危険に気を付けて遊ぶように、安全について親子で確認し合いましたか。
 学校までの通学路を親子で歩いてみましたか。
 こどもを守る 110 番の家の意味を知らせましたか。



自分のことは自分でしましょう

自分のことが一人でできることは、自立心を育てます。
 日頃から一人で着替えたり、脱いだものをきちんとたたんだりできますか。
 自分のカバンや荷物を、きれいに整理できますか。
 お箸や鉛筆を正しく持ち、使えていますか。

物を大切にしましょう

自分の持ち物と他人の物の区別が付き、物を大事にする気持ちを育てましょう。
 持ち物に、親子で一緒に名前をつけていますか。
 落ちている物を拾う、無くしたときは最後まで探すなどの姿を親が見せていますか。

小学校でのこんな姿につながりますよ！

- ・一日の流れを理解し、見通しをもって生活する。
- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・自分の持ち物が分かり、物を大切にする。

発見・考え・表現する力

好奇心や探究心をもってものとかがわる

感じたこと・考えたことを言葉で伝える

文字や数量などの感覚を豊かにする

いろいろな遊びや体験をたくさんしましょう

身体を動かして遊ぶ、つくる、かく、歌う、踊るなどいろいろな遊びや体験が、学びの基礎につながります。
 子ども自身が興味・関心をもったものに親子でじっくりと取り組める時間をもっていますか。

夢をもちましょう

やってみたいことやなりたい人など、あこがれや夢を持つことは、いろいろなものに対する意欲につながります。
 親の子ども頃の夢を話したり、子どもの夢を聞いたりしていますか。
 子どもの良いところを 10 個言えますか。



生活の中で、文字や数などに触れましょう

大人に絵本や物語を読んでもらうことで、想像力や言葉が増え、理解する力がつきます。
 本をたくさん読んであげていますか。
 買い物などの実体験をさせていますか。
 人前で自分の名前、年齢などがはっきり言えますか。
 時間を意識した生活をしていますか。



- ・学校での学習態度やきまりが身に付く。(聞く・話すなど)
- ・教室で学級の友達と一緒に遊ぶことの喜びを感じながら、意欲的に学習に取り組む。

かかわる力

あいさつをする

人とかかわる

きまりや約束を守る

家族と一緒に過ごす時間を大切にしましょう

家族での心身の触れ合いの中で、愛情や安心感、信頼感が育まれます。
 思ったこと、考えたことを、家族間でたくさん話し合ったりじっくりと聞いてあげたりしていますか。
 家庭で手伝いなど役割をもたせていますか。

地域の行事や異文化に触れる機会をもちましょう

地域のお祭りや行事、異文化交流などで様々な人と触れ合うことは、子どもの社会を広げます。
 地域の人とかかわる機会を持たせていますか。
 地域の行事に参加させたり、外国の文化に触れさせたりしていますか。



返事やあいさつをしましょう

返事やあいさつは人と気持ちよく過ごすために大切なことです。
 大人が手本となり教えましょう。
 「はい」と元気に返事ができますか。
 「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつが家族同士で自然に言えていますか。
 困った時に自分から周りの人に聞くことができますか。

きまりや約束をまもりましょう

人に迷惑をかけない、危険なことはしないなど、社会や家庭、園のきまりを守って生活することは社会生活の基盤となります。大人の善悪の判断基準をしっかりと示し、繰り返し知らせていきましょう。
 (また、テレビやゲームのA機器は子どもにとっては強い刺激となります。使う時間を決め、家族の大事なきまりとしてしっかりと守らせましょう) 家庭で決めたルールはありますか。
 良いことをした時には誉め、決まりを破った時やいけないことをした時には、理由を分かりやすく説明し、悪いということを伝えていきますか。

- ・学校の人たちや友達、地域の人に親しみの気持ちをもって、あいさつをする。
- ・友達とかかわり合いながら、なかよく生活をする。
- ・集団生活や生活のきまりを守り、自分で考えて行動する。